

未来の消防士へ『エール』 インターンシップを開催

福島市消防本部

福島市消防本部では、消防士の仕事について理解を深めていただくため、8月20日（木）、21日（金）の2日間、高校生以上を対象にインターンシップを開催しました。

消防士の仕事についての説明や、放水・煙体験を実施したほか、女性限定回を設け、実際に働く女性職員との座談会も行いました。

参加者からは「実際に見たり体験したことで、より消防士になりたいと思うことができました」などの感想をいただき、消防の魅力を知ってもらえる良い機会となりました。



耐熱熱気訓練を実施

海老名市消防本部

令和2年8月7日、18日及び9月1日に海老名市消防署南分署において耐熱熱気訓練を実施しました。同訓練は、建物火災を想定した高温環境下での訓練を実施することにより、隊員のヒートストレスの体感及び内部進入要領の習熟を図ることを目的に、現場経験の少ない若手職員を中心に行いました。

訓練当日は猛暑日ということもあり、熱中症対策としてクールベストを使用し、訓練前後の隊員の体温測定を行い、体調管理に留意しました。



消防通信 望楼 ぼうろう

「通信勤務経験者に対する実務研修」を実施

西宮市消防局

西宮市消防局では、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、通信指令員が万一罹患等により出勤できなくなった場合を想定し、消防局内の通信指令業務経験者に対して実務研修を実施しています。

この研修により、119番通報受信から出動指令までの流れと機器操作の確認を改めて行うことで、非常時における通信指令員の代替要員を広く確保しています。

今後も感染症対策を徹底するとともに、業務継続性の確保のため、必要な措置を講じていきます。



他機関と連携した山岳救助訓練を実施

美作市消防本部

美作消防本部では、8月25日・26日の2日間、美作市後山にある船木山（標高1334m）において、山岳救助訓練を実施しました。

25日は岡山県消防防災航空隊と、26日は市役所職員と美作警察署員と連携し訓練を行いました。

近年、登山者が増加傾向であり、美作市の山々も例外なく増えています。

この訓練を通して、船木山についての知識の上進、他機関との連携を強化し、消防力の向上を図ることができました。

